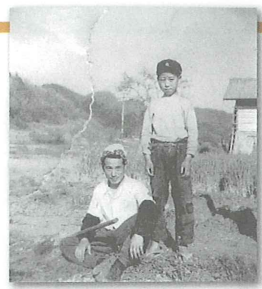


奥会津だより



写真：田沼隆之

小学校六年生当時のじいちゃん農作業とそのときの状況



この写真は、六十年前(昭和二十七年)の小学六年生の私のじいちゃんです。となりにいるのはじいちゃんのお父さん。お父さんは平井けんに似ている。この時じいちゃんは、はじめて畑をたがやす手伝いをしたそう。この畑のある場所はシゲルスタジオの裏にあって、今も野菜をつくるのに使っている。このころトラクターなど機械類はなく、農作業は、すべて手作業でとても重労働だった。

この写真をとった一年前は、下中津川で大火災があり、約百八十軒焼けた。あらゆる物が焼けてなくなってしまう、不自由な生活をしてきたそう。私がこの話を聞いて、大変だと思ったことは、当時私と同じ六年生だったじいちゃんが、初めて畑をたがやす手伝いをしたのは手作業だまじか手伝いではないから分らないけど、全部手作業は大変だと思いました。そして一年前に大火災によってたくさん物の物が焼け、食料などあらゆるものが不足している状態でも農作業をがんばるのはいいと思えました。

取材ノート

Q:この写真が撮られた昭和27年頃、畑では何を作っていたのでしょうか?

広日さん:自家用野菜ですから、主にジャガイモですね。

Q:初めて畑を耕す手伝いをしたという方は、どんなきつかけでしょうか?

広日さん:それは、強制的に「やれつ!」ってことです。私が学校に入る一年前に戦争から帰ってきたから、軍隊式に命令されました。

Q:それは、嫌々ながらの手伝いでしたか?

広日さん:そういうことはない。何事にも抵抗はしなかったし、そんな感覚は無かったですね。

Q:どのような道具を使っていたか?

広日さん:昔のクワも、今のクワも、のようなく、木で作ってあるところ、木で作っているように刃のようにつく。小中津川に鍛冶屋さんがあった。

Q:写真の右

祖父:鈴木 広日さん (昭和16年3月生72歳)

孫:鈴木 璃七さん (昭和12年生12歳)

Q:火災でケガ人や亡くなった方はいたのでしょうか?

璃七さん:今とはだいぶ違うなあ、強いているけれど、じいちゃんの家の手伝いをしていて、私には出来ないかな、と思えました。

Q:火災でケガ人や亡くなった方はいたのでしょうか?

璃七さん:今とはだいぶ違うなあ、強いているけれど、じいちゃんの家の手伝いをしていて、私には出来ないかな、と思えました。

Q:子どもころの楽しみは何でしたか?

璃七さん:楽しみなんで無かった、働くことだけでした。学校から帰ってきてすぐに仕事をしなきゃならない。木を伐って柴刈とか農作業とか何でもしなきゃならなかった。この辺の子供たち皆やっていた。遊ぶことなんて出来ない。

Q:今の孫さんたちを見てどうですか?

璃七さん:まあ幸せだなあ。私たちがつらい事を乗り越えてきたから、様々なことに耐えられるという忍耐力は持っています。

昭和村立昭和小学校 六年 鈴木 璃七

写真・文責・菅 敬浩

こども聞き書き百選 『じいちゃんありがとう』より

ばあやの子供のころの話



この写真は、おばあちゃんが二才ころの写真です。おばあちゃんは、十二人兄弟の末っ子です。一番目のお兄さんと二番目のお兄さんが戦争に行っていたそうです。

そのお兄さんを元気づけるために、この写真をとり、栗や干し柿といっしょに送ったそうです。

私は、おばあちゃんという十二人兄弟だということにとっても驚きました。そして兄弟がたくさんいていいなと思えました。でも、「おばあちゃん長生きしてください。」

取材ノート

Q:未結さんが書いた文章が本になりました、御感想は?

璃七さん:昔はこういう風だった、なんて言ったことを書いてくれて、良かったなあと思えました。

Q:なぜこの写真にしましたか?

未結さん:兄弟がたくさん写っていて楽しそうだな、と思ったからです。

Q:どこで撮影して、季節はいつだったのでしょうか?

璃七さん:実家(大志)の前です。浴衣を着て扇子持っているから夏かなあ。一番上のお兄さんがフイリピンの方に

家族が生きて帰れるか分からない戦争に行っているなんて悲しい事だと思えました。

そのころの食べ物、あまりお米が採れなかったの、さつまいもや山に生えている野草をご飯と混ぜて食べていたそうです。それを聞いて私は、今の時代は恵まれているなと思いました。そして、いつも感謝してご飯を食べたいと思いました。

この写真の上に写っているお姉さんは、小学校を卒業すると遠くに働きに行きました。私も、もうじき、小学校を卒業しますが、親元を離れて働きに行くなんてとてもできません。おばあちゃんのお姉さんはすごいなと思いました。今では兄弟は六人になりました。戦死したそうです。きつこの写真を見て元気づけられたことでしょう。

私は、この古い写真を見て、おばあちゃんの歴史を感じました。

取材ノート

祖母:中丸ムツ子さん (昭和15年7月生72歳)

孫:中丸未結(みゆう)さん (金山中1年) (平成13年1月生12歳)

Q:山の野草というのは?

ムツ子さん:ウツギって言うの、それから、かて(大根の葉っぱ)だな。

Q:お兄さんが仙台の病院を退院されてから、どうされましたか?

ムツ子さん:また召集されたの。その時、その下のお兄さんが亡くなったって、遺骨が来たんだって。その日に召集されて、お母さんはうんとつらかったべ、って姉連が話していました。「お母さんは、よく涙も出ぬえな」とって言った。「こんな時に涙も出ないっていうのは、こういうことだ。」って母親が言った、ということをお姉さんから聞きました。

Q:お姉さんは、どちらで働きましたか?

ムツ子さん:鶴見にあった海苔屋さんです。

Q:他の兄弟は戦争に行かなくなったのでしょうか?

ムツ子さん:もう一人、このお兄さん

未結さん:小学校を出てすぐに都会に働きに行ったことが信じられないし、偉いなあと思えました。

写真・文責・菅 敬浩

奥会津の食材と料理

ちそっ葉巻き



シソの葉が育つと食卓に並ぶのがこの惣菜。

すりおろしたジャガイモに味噌と砂糖を加えて味を調え、少々的小麦粉も加える。それをシソの葉で巻いて揚げただけの手軽な一品。シソの鮮烈な香りとジャガイモのモチリした食感が好まれて、食欲が減退しがちなこの時期には、たびたび食卓に登場する。

奥会津の生き物たち バッタの抜け殻



朝露が消えないうちに脱皮完了。透明な抜け殻だけが草の茎にしがみついている。脱皮を何度か繰り返して、ようやく翅が整うという。成長するための命がけの営み。

再生したモノたち



佐野久子さん(64)が古い布で小物作りを始めたきっかけは、母親の着物や帯がたくさん遺されていたことだった。このお手玉は、母親が縫ってくれた半纏や夫のネクタイで作った。「手を動かしていると、未っ子でいつも母ちゃんのそばにいた昔を思い出す。母は動くばかりの人だったけれど」。母親と同世代の人が、着物の柄などを見て懐かしがってくれるのも嬉しいと言う。

※このコーナーの作品を募集しています。(古いものを作り直して再生使用しているモノ)問合せは奥会津書房(0241-52-3580)まで。

ヤマアジサイ



山中で出会うヤマアジサイは、土手一面に群生して咲く。濃い緑に溶け込むようなひそやかなたずまいだが、一輪ごとの清楚な美しさは息を呑むようだ。

開花時期は園芸種よりも早く、葉も茎も細い。

自然に添った暮らし

写真・文 竹島 善一

組み上げた檜やぐらを中心に、提灯の明かりが祭りを浮かび上がらせる。このときならでは人の輪ができる。賑わいはあるが、しっとりとした情感が漂う山村の盆踊り。

周囲の山と闇の中へ、笛太鼓の音色が吸い込まれてゆく。自然のふところにある感謝と祈りを込めて。

(昭和52年8月 昭和村野尻)



方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「うぶって」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、昭和村の「からむし織製品(箸と箸袋)」をプレゼントいたします。

●応募方法：自製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

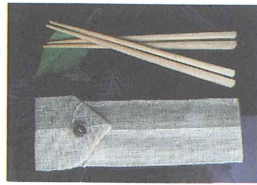
●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979

奥会津書房 宛

●応募締切：2013年8月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号76号で発表いたします。



◎74号「かでまんま」の答え：「大根などの葉を混ぜたご飯」
たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



お守り紹介

- 避難住民2年3ヶ月振りの集まりの後、三島町の工人祭りで本紙に出会いました。表紙の、柴を伐る写真の中の「鉈」を持つ手に目を奪われ、帰れぬ故郷の記憶の中の一枚のバズルのようです。退職してから夢んでいた生活でした。今では叶えることはできない。明日へ背中を押してくれた、希望を与えてくれた写真です。ありがとうございました。(H.Kさん 福島市)
- 私も小学生のころまで、正月三が日を除いて、ほとんど毎日「かでまんま」でした。その頃の母は、食事の支度がどれほど大変だったことか。今は懐かしく思い出されます。(T.Tさん 昭和村)
- どの記事も本物のニュースで感動します。サクヨさんのお守り袋は「思い」が伝わってくるようで本当に感心しました。(T.Aさん 千葉市)
- 道の駅で時折手にする「奥会津だよりの」。心がほっこりします。写真も文章も、確かにそこで生きている方々の息遣いを伝えてくれるからです。(S.Nさん 柏市)

奥会津だよりの定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

奥会津大学



奥会津大学では2013年度の単回受講生を随時募集しております。詳しくは奥会津大学実行委員会まで。

奥会津大学文化祭開催!!

●開催日：8月24日(土)～25日(日) ●場所：柳津ふれあい館(柳津町)

☎ 0241-57-2240

7月9月	タイトル	講師	開催日	時間	受講料	講座形式	集合場所	備考
講座内容	只見ユネスコパークが目指すもの ～原生的自然環境と過疎高齢化に向き合う～	鈴木 和次郎	7月21日(日)	10:00～17:00	1,000円	フィールドワーク	只見町ブナセンター(只見町)	雨天決行 雨具・昼食・飲物持参
	縄文を食べる! ～大昔の人々は何を食べていたか?～	森 幸彦	8月31日(土)	10:00～17:00	1,000円	フィールドワーク	奥会津昭和の森キャンプ場(昭和村)	雨天決行 雨具・昼食・飲物持参
	里山の暮らしと知恵II ～樹々の特性を農具に生かす・共同炊飯+ナイトハイク～	月田 禮次郎	9月7日(土) 9月8日(日)	10:00～翌日	1,000円	フィールドワーク 宿泊講座(帰宅可)	月田農園(南郷)	雨天決行 雨具・昼食・飲物持参 宿泊費等別途5,000円
	蜘蛛の生活と人との繋がり ～蜘蛛を好きになる糸口～	平野 健一	9月8日(日)	10:00～12:00	500円	座学	月田農園(南郷)	

奥会津イベント情報

7月中旬～9月中旬

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
7月20日(土)～21日(日)	第28回 からむし織の里フェア	昭和村	からむし織の里	からむし織の里フェア実行委員会 ☎0241-57-3100
7月21日(日)	第1回 南会津周遊ロードツアー ～走ってみよう南会津!～	館岩・伊南 南郷地域		館岩・伊南・南郷地域 たかつえ地区マウンテンバイクリゾート構築 による地域興し事業推進委員会 ☎0241-78-3099
7月27日(土)～28日(日)	水の郷まつり	只見町	只見川公園	水の郷まつり実行委員会 ☎0241-82-2380
7月27日(土)	会津高原たていわ夏まつり		たかつえスキー場	
7月28日(日)	こども溪流まつり	館岩地域	しらかば公園	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-78-2546
8月1日(木)～14日(水)	いよっかり	檜枝岐村	三尾瀬公園	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
8月3日(土)	大桃夢舞台	伊南地域	伊南地域大桃地区	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-76-2517
8月3日(土)～4日(日)	沼沢湖水まつり	金山町	沼沢湖畔	金山町観光物産協会 ☎0241-54-2311
8月4日(日)	第21回 真夏の雪まつり	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
8月4日(日) 受付 7:30～ 式典 8:00～	唐倉山 山開き	南郷地域		南会津町観光物産協会南郷観光センター ☎0241-72-2112
8月10日(土)	霊まつり・稚児行列・流灯花火大会	柳津町	只見川河畔	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
8月15日(木)	渡御祭	昭和村	小中津川 気多神社	昭和村観光協会 ☎0241-57-3100
8月18日(日)	納涼盆踊り大会	柳津町	柳津温泉内 中の橋 午後7時～	柳津町商工会青年部 ☎0241-42-2552
8月18日(日)	鎮守神社祭奉納歌舞伎	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
8月24日(土)～25日(日)	第3回 奥会津麺Sフェスティバル	柳津町	道の駅「会津柳津」	柳津町役場観光商工班 ☎0241-42-2114 奥会津麺Sフェスティバル実行委員会事務局 ☎090-3129-8102
8月31日(土)～9月1日(日)	第4回 尾瀬檜枝岐ぶなの森ウォーク	檜枝岐村	檜枝岐村内	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
9月1日(日)	只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ 奥会津ロックフェスティバル'13	只見町	只見町内 季の郷湯ら里	只見地区センター ☎0241-82-2141 奥会津ロックフェスティバル実行委員会 ☎0241-48-5525
9月7日(土)	早戸温泉神社まつり	三島町	早戸温泉	早戸温泉つるの湯 ☎0241-52-3324
9月7日(土)	南郷豊年まつり	南郷地域		南郷豊年まつり実行委員会(商工会南郷支所内) ☎0241-72-2041
9月14日(土)～15日(日)	第29回 歌舞伎の夕べ	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
9月14日(土)～15日(日)	古町のまつり	伊南地域	伊南地域古町地区	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-76-2517
9月中旬	西山温泉まつり	柳津町	西山温泉山村公園「せいざん荘」	柳津町役場西山支所 ☎0241-43-2111

奥会津を巡って、景品GET!!

奥会津アドベンチャーキャンペーン

温泉・麺・探検の3つのコースを巡り、奥会津の魅力を感じてください!!

開催中!!



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：7月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net ☎ webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。